

# 地域連携センター Newsletter

## 大学との協働による健康寿命延伸対策の推進

群馬県健康福祉部保健予防課  
健康増進主監 阿部 絹子

平均寿命の伸び以上に健康寿命を延ばすことは、個人の生活の質の低下を防ぐ観点から県政の重要課題です。

まずは、県民が「自らの健康は自らがつくる」という機運を高めることが必要であることから、県では、県民が実践すべき健康づくりの具体的な事項として「ぐんま元気の5か条」を制定し、推進しています。

また、国保データベース（KDBシステム）のデータの集積・分析・活用により地域の健康課題を「見える化」し、科学的根拠に基づいた健康づくり対策を通じて、保健事業の実効性を高めるための取組も進めています。

さらに、高齢化が進展する中で、県内市町村においては、地域包括ケアシステムの推進とともに、保健・医療・介護を一体的に取り組むことが重要となり、これまでの取組をさらに拡大することが求められています。

そこで、平成28年度に、県政の課題について、役職・所属にとらわれず、幅広い意見交換・議論を行い、新たな解決策を立案する政策プレゼンに、県民健康科学大学と協働してチャレンジしました。プレゼンでは、大学の教育・研究機能を広く社会に開放し、健康寿命延伸のための保健指導プログラムの開発や次世代の人材育成・地域交流の活性化等の取組を県と大学で協働して推進していくことを提案しました。

これを契機として、昨年度は「ぐんま元気の5か条」シンポジウムを協働で開催、今年度も「元気に“動こう・歩こう”プロジェクト」のキックオフフォーラムの開催に向けて協議を進めています。

今後も、県民の生涯にわたる健康水準の維持・向上に貢献できる保健医療専門職を養成している大学との連携・協働を強化し、健康寿命延伸を実現したいと考えております。



### 「元気に“動こう・歩こう”プロジェクト」キックオフフォーラムのお知らせ

本学は群馬県と協働して、「元気県ぐんま」の実現に向け、「元気に“動こう・歩こう”プロジェクト」を展開し、県民の皆様が身近な地域で“動く・歩く”ことを目指してキックオフフォーラムを開催します。

【日 時】 平成30年9月30日(日) 13:30~16:00

【開催場所】 本学大講義室

【対象者】 一般県民 200名(先着順)

【申込方法】 詳しくは本学のホームページをご覧ください。

## 公開講座 テーマ「脳科学はここまで進化している。今最も面白い脳科学」

### 講義1. コミュニケーションと脳機能 行動実験で探る“あなた”と“私”

講師: 群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部 甲村美帆 教授

### 講義2. 機能的MRI ネットワークで心の働きを測る

講師: 本学診療放射線学部 柏倉健一 教授



本講座には120人の参加があり、最先端の脳科学に関する研究成果について学ぶ機会となりました。県立女子大の甲村教授は、人が相手の顔や表情、視線を認識する仕組みについて説明を行い、なぜ人間がその場に適した行動をとれるのか解説しました。本学の柏倉教授は最先端の放射線診療技術を紹介し、脳の働きについて解説しました。

## オープンキャンパス



8月10日・11日の2日間、オープンキャンパスを開催しました。猛暑の中、1,687人の皆様にご来場いただきました。参加者の皆様には、模擬授業や演習の体験、在学生によるキャンパスツアーにご参加いただき、本学への理解を深める良い機会となりました。

## Kenkadai A to Z



### ■ UNIFORM: 看護学部のエンブレムの由来

本学の看護学生ユニフォームの左肩には、写真のようなエンブレムが印刷されています。

周りの部分は鶴と手で、鶴は群馬県、手は看護、星は希望を表します。作者は看護学部1期生西澤（旧姓内田）麻利恵さんです。

## お知らせ

### ◆公開講座 テーマ「正しく知ってる?食品添加物 ～食品添加物と私たちの暮らし～」

【日時】 平成30年9月29日(土) 13:30~15:10

【講師】 群馬県健康福祉部食品・生活衛生課 食品安全推進室 室長 萩原 美紀 講師

【対象者】 一般県民 120人(先着順) 【受講料】 無料

【開催場所】 本学多目的ホール(西棟1階)

【申込方法】 ファックス・電話または本学ホームページよりお申し込みください。

### 桃の木祭(学園祭)を開催します!

【日時】 平成30年11月10日(土)・11日(日)

【開催場所】 群馬県立県民健康科学大学

※詳細については、本学ホームページ等でお知らせいたします。